

編集・発行 栃木西部地域まちづくりセンター（吹上公民館）

令和2年度栃木西部熟くり塾を開催しました。

令和2年10月31日（土）を皮切りに、令和2年度栃木西部熟くり塾第1回が「水害時の避難所シミュレーション」と題して、吹上公民館、皆川公民館、寺尾公民館において開催されました。



吹上公民館での様子

10月31日（土）吹上公民館において、27名が参加しました。令和元年の台風19号で実際に自宅が被災した沼尾愛子さんと、復旧作業に参加した酒巻幸夫副会長の体験談を伺いました。また避難の際のポイントや災害時に役立つ食料やグッズなど実際に見ながら説明を受けました。

11月4日（水）皆川公民館では12名が参加。始めに令和元年の台風19号当日、県道が水であふれ川のように流れる様子をスマホで記録した映像を映写。床上浸水となり公民館に避難した皆川城内駐在所の中山巡査ほか、参加者一人一人に当日の様子を伺った後、避難時の注意点、備えるべき防災用品などの説明を受けました。今後は地域の実情に合わせた避難行動や、自主防災組織の在り方等、話し合いも必要との意見も出されました。



皆川公民館での様子



寺尾公民館での様子

11月6日（金）寺尾公民館において、30名が参加しました。NPO法人ハイジの中村さんと平子さんの進行により、災害時のタイムライン（災害対応カードゲーム）を自治会で検討しました。また、クロスロードゲームをしながら、災害時にどのような行動をとるべきなのかを話し合いました。

この後の開催状況

第2回	『天然痘に挑んだ初代県令 鍋島幹』	12月 6日（日）13：30～	皆川公民館
第3回	『災厄に対する祈り 仏教美術とアマビエ』	12月20日（日）13：30～	吹上公民館

※『栃木西部地域の特産品紹介&交流会（仮）』を令和3年に開催予定。詳細は決まり次第お知らせします。ご興味のある方はぜひご参加ください。